

札幌市政概要

令和7年版

札幌市徽章

札幌市徽章は、明治44年8月に制定された。

外側の六角模様は、6つの花、すなわち雪をもって北海道を象徴し、内側円形模様は札幌の札の字を表わし、さらに○形全体をもって片仮名のロの字を兼ねている。中央の星型は北斗星にちなみ、北方の意を示すとともに片仮名のホの字を形どったものである。

つまり、徽章全体を通じて北海道札幌を表示したものである。



札幌市民憲章

わたしたちは、時計台の鐘がなる札幌の市民です。

元気ではたらき、豊かなまちにしましょう。

空も道路も草木も水も、きれいなまちにしましょう。

きまりをよくまもり、住みよいまちにしましょう。

未来をつくる子どものしあわせなまちにしましょう。

世界とむすぶ高い文化のまちにしましょう。

昭和38年11月3日制定
昭和61年6月6日一部改正

写真で見る 令和7年のさっぽろ



1月15日、「さっぽろスイーツコンペティション2025~neoいちごショートケーキ~」のグランプリ発表会及び表彰式が行われ、新たな“さっぽろスイーツ”がお披露目されました。



1月29日～30日、道内各地域における防災対策や避難所運営能力向上を目的に、北海道と札幌市の共催で厳冬期における避難所運営・宿泊演習を実施しました。



1月29日～2月2日に大和ハウス プレミストドームで開催されたeスポーツ世界大会「Apex Legends Global Series (ALGS) Year4 Championship」には延べ34,000人以上が来場。世界中から集まったトップチームが熱戦を繰り広げました。



6月24日、エレクトロニック・アーツ社と札幌市は、同世界大会を2026年および2027年に札幌で開催することに関する覚書を締結しました。1月に開催したものとあわせると、3年連続で札幌市にて同世界大会が開催されることとなりました



2月4日～11日の期間、「2025さっぽろ雪まつり（第75回）」を開催しました。5基の大雪像をはじめ札幌ならではの冬の魅力を、多くの市民や国内外の観光客が楽しみました。



7月9日～29日の期間、国際教育音楽祭パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（PMF）2025を開催し、世界中から集まった若手音楽家が平和のハーモニーを奏でました。



8月1日、新しい駒岡清掃工場が供用を開始し、ごみの焼却による発電の能力が旧工場の約3倍になり、ごみ選別ゲームなどの体験型設備も導入し環境学習機能も充実しました。



8月8日～11日、大田広域市長からご招待を受け、姉妹都市提携15周年のお祝いを兼ねて、市長が大田広域市を訪問しました。現地で開催された「大田0時祭り」に出席したほか、両市の大学生交流の視察や、経済セミナー・ビジネス交流会に参加しました。